

算数オンライン塾 4月12日の問題 解説

(解説と解答)

(1) 3人の買った品物の合計のお金と3人が持っていたお金の合計は同じです。それぞれが買ったものの値段を【6】、【5】、【4】とすれば、合計は【15】です。

一方全体のお金は三女の3倍よりも $500+400=900$ 円多いので

$$\text{【15】} = \text{三女の所持金} \times 3 + 900 \text{ 円}$$

$$\text{【5】} = \text{三女の所持金} + 300 \text{ 円になります。}$$

【5】は次女の欲しいものの値段です。したがって

$$\text{次女の所持金} = \text{三女の所持金} + 500 = \text{【5】} + \text{次女が二人に渡したお金}$$

$$= \text{三女の所持金} + 300 \text{ 円} + \text{次女が二人に渡したお金}$$

$$\text{三女の所持金} + 500 = \text{三女の所持金} + 300 \text{ 円} + \text{次女が二人に渡したお金}$$

から次女が二人に渡したお金 $= 500 - 300 = 200$ 円になります。

(答え) 200 円

(2) 次女は $200 \div 5 \times 2 = 80$ 円を長女にわたし、 $200 - 80 = 120$ 円を三女に渡しました。長女と三女の差は 400 円で、

長女の所持金は【6】 - 80 三女の所持金は【4】 - 120 ですから

$$\text{【6】} - 80 = \text{【4】} - 120 + 400 \text{ から } \text{【2】} = 360 \quad \text{【1】} = 180$$

$$180 \times 6 = 1080 \text{ 円}$$

(答え) 1080 円